☆　「あいさつ」と「歌声」と「花」の学校　☆

加茂市立石川小学校
学校だより　通算３３５号
（令和３年度　第15号）
令和３年１２月８日
校長　山　本　哲　哉

みどりの風

（ＵＲＬ）　http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/　（E-mail）k-iskwj@educet.plala.or.jp

今年の終わりや令和３年度末まで、そしてその先も、笑顔を…

ときは永禄３年（1560年）。まだ江戸時代前の戦国時代…。ある武将が戦（いくさ）に出向くにあたり、戦勝祈願のために、兵を連れて熱田神宮を訪れた時のこと。武将はその時まだ27歳。戦国武将としてはまだヒヨッコです。

さて、その武将。熱田神宮に祈願した後、熱田出身の侍である加藤図書助順盛（かとうずしょのすけのぶもり）に声を掛け、「神前に捧げる御神酒の酌をせよ」と命じます。

命じられた加藤。加藤は御神酒のお酌をすると、その武将、周りの兵たちに聞こえるように、加藤にこう言いました。

「加藤！」「加藤よ。今日の戦は勝とう！」。今だったら、全員ドン引きするかもしれないオヤジギャグです。でも、これを聞いた兵たちは、こう思ったかもしれません。「うちの大将は、若いのに意外とやるな」「さすが！面白い！心に余裕がある‥」。

そのおかげかどうかは分かりませんが、絶対的に不利と言われたその戦は奇跡的な勝利に終わったとのこと。出陣前に、オヤジギャグをとばした武将の名は織田信長。戦の相手は今川義元。そうです。桶狭間の戦いでした。ダジャレ１つで兵の士気をあげた信長。若くして大物だったようです。

こういったダジャレは時や場所を選びます。タイミングもあるでしょう。聞く方も気をつかいます。ですが、ユーモアや笑いは、人に元気をもたらすことが多くあります。この話は、作り話ではなく、古い文献(『尾張名所図会』)の一部に記録が残っているそうです。

……

さて、石川小学校では、今年も「石川笑学校」を創ろうと、各種の取組を進めてまいりました。子ども、職員、家庭、地域、加茂、新潟、日本、世界にとって大変な時代を乗り越えていく1つの手段として、「笑顔」「笑うこと」がとても大事ではないかと考えたからです。お子さんの笑顔はどうでしたか。増えたでしょうか。

今学期も様々なことがあり、その都度考え、学び、時には悩み、また感動・感謝しながら、心と身体と学力を育ててきました。とは言っても、思いやりや感動の心、挨拶、自己有用感や自信、自分や人のためにがんばろうとする意欲は、最も小さい社会の単位である「家庭」で育まれると言われています。

12/24 から冬休み。「家庭」での生活や「家族とのかかわり」がとても強くなる、大事な 14 日間です。「家族の一員」としてどのようにふさわしい生活をしていくか。そして、笑顔で生活することが、この冬休みの大事なめあてになりそうです。

お願いがあります。「家族で一緒に大掃除をしたり料理を作ったりする」「お正月ならではの遊びや書き初めを楽しむ」ことに加え、ぜひ、笑いや笑顔、会話のある年末年始をお過ごしいただきたい(一人一人が画面を見ているような生活からの脱却をお願いしたい)のです。

もしかすると、この2学期、ある子によっては辛いことがあったかもしれません。ある家族には切ないことがあったかもしれません。けれども、各家庭での明るい生活・楽しい会話が、子どもに次のエネルギーを与えると思います。前向きな姿を育てます。にこにこと、そしてかしこくたくましく過ごし、気付き考え行動し、家族の皆さんと一緒に、あたたかな心で毎日過ごすことができますことを願っております。

……

子どもにとって充実した冬休みに、また、素敵な年末年始になりますように、冬休みの計画づくりを含め、ご家庭での準備をお願いします。そして、1月７日(金)に全員が無事に登校できますよう、母・父・祖母・祖父・きょうだいなど、いらっしゃる家族全員でご支援ください(家族の1人だけが頑張っているようでは、不十分です。家族のそれぞれには、一人一人の役割があります)。